

分会情報

J R 東海 労 大 阪 仕 業 検 査 車 両 所 分 会

No. 7 1 2 0 1 3 . 4 . 3 0

発 行 責 任 者 柿 本 克 彦

編 集 責 任 者 教 宣 部

庫7番線開業に伴う問題点を申し入れる！！

私達は「大阪検査車両所庫7番線開業に伴う申し入れ」を行いました。

この申し入れを要約すると「パンタスリ板点検場所が暗くて転落する恐れがある」「点検通路が狭くてぶつかったり、転落する危険がある」「階段が滑りやすく転倒する」「検修車の乗り降りが困難である」等であります。

これは私達だけではなく、仕業・申告担当検査者すべての問題点であります。

ユニオン、国労も現場の組合員の声を聞いて一緒に会社に対して声を上げていきましょう！！

会社は現場社員の声を聞いて職場環境を改善することは職務です。

私達は問題点や危険箇所を具体的に上げました。これで改修をしないで、労災でも発生したなら、「すべての責任は会社にある」と忠告します。

業務の本質って何？事故隠しすること？！

今、会社で「ふりかえり面談」が実施されています。その中で「25年度重点取り組み事項」で「お客様に安心して新幹線に乗っていただくため、業務の本質を理解し、確実な作業をしよう」と書いてあることを確認しています。

この中の業務の本質とは何でしょうか？私達は講習や訓練で知識を深め、過去の事故例や教訓を学んで修繕し、事故や故障を事前に防ぐことだと考えます。

しかし、会社は違うようです。先日起きた歯車箱破損事故については、今だに現場社員に事故の詳細や原因はおろか、事故が起きたことすら明らかにしていません。社員が新聞等で初めて知ったところです。会社のいう業務の本質とは何でしょうか？会社に都合の悪い事故を隠すことでしょうか？ある助役みたいに仕事が出ると「わしゃ知らん」と逃げることでしょうか？その一方では、隠れて社員の些細なミスを見つけることでしょうか？作業に重要なN700Aの訓練は拒否するのに、「手待ち時間があるから」と言ってペンキ塗りをさせることでしょうか？まったく理解出来ません！！

お客さまに安心して新幹線に乗っていただくためには、社員の些細なミスを探すのではなく、今回の事故の詳細、原因を明らかにし、教育や訓練を十分に行うことです。社員の声を聞いて職場環境を改善することです。これができて初めて確実な作業ができます。みんなで声を上げていきましょう！！